



2009~2010年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーの未来はあなたの手の中に

事務局・例会場 鹿兒島東急イン
〒890-0053 鹿兒島市中央町5-1-9F
TEL 090-5295-2736
FAX 099-251-5290
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

会 長 松田 泉
会長エレクト 前田 正幸
幹 事 井川 良仁
編 集 会報・広報委員会

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ <http://www.ri2730.org/southern/>

Vol. 14-15

第589回例会 平成21年10月20日(火) プログラム「鹿兒島城西RCとの合同例会」

前回第588回例会[10月15日(木)]の報告 於：東急イン

【会長アドレス】会長 松田 泉

9月3日にガバナー公式訪問がありましたが、秦ガバナーよりその際のお礼状が届いていますので、ご紹介します。(略)

今月8日の市内会長・幹事会に急速伊藤ガバナーエレクトが参加され、挨拶されました。その中で、ロータリーには、RIの意向があり、各クラブの自主性がある。この中における地区の役割とはその両者の橋渡しではないか。それは決して上意下達ではない。という旨の御発言がありました。あるポジションに就任する時、その役割を取り違えるとその活動は間違った方向に進んでしまいます。その役割が何かをきちんと再認識することは大変重要なことだと改めて思いました。13日には我クラブの委員長会議を開催し、今年度の各委員会の年度始めの活動計画と3ヶ月経過した時点の活動進捗状況を比較し、これからの3ヶ月間の活動を確し合いました。各委員長が積極的に活動して下さっていますが、中でも例会出欠表を基に、各会員の出席率、メーキャップ状況などを明確にし、まずその所属委員会からの働きかけを提案した夏迫出席委員長の実行力に感服しました。各委員長が自分の役割を正確に把握し、所属する全委員を巻き込んで活動することがクラブの活性化の源だと改めて感じた次第です。まず参加することから始まります。24~25日の地区大会に大変多く参加して頂けることに感謝しています。一緒に楽しみましょう。

【会務報告】幹事 井川良仁

- ① 来週は10/20(火)城西RCとの合同例会 18:30~東急インにてです。10/22(木)は例会はありませんのでお間違えなくお願いします。
- ② 地区広報・雑誌・IT委員会が10/24(土)10:30~ワールドコンベンションセンターにて行われます。前田由会報・広報委員出席予定。
- ③ 地区大会の車割とスケジュールを参加者に配布しました。乗合の方は各自連絡をお取り下さい。

【ゲスト】バンコクRC・・・スペンソン智江美さん
おやっとなさあ~です。昨年の地区大会ではピチャイ・ラタクル元RI会長に代わりお礼申し上げます。来年9月にバンコクRC創立80周年を致しますので是非バンコクにお越し下さい。コンケン市のペラボン市長、ケンクーン



RCのソムチャイ氏もくれぐれも宜しくとのことでした。今後もサザンウインドRCとの交流を深めて参りたいと思います。

【ゲスト】米山奨学生 プルナマワティさん

【ロータリー財団寄付目標達成者】10/15

本木順也君・野元博志君

【米山記念奨学会寄付】10/15 永田優治君

【ニコニコBOX】

◆池田耕夫君・岩田政大君・森妙子君

智江美さん、おかえりなさい。これからもよろしくお願ひします。

◆池田耕夫君

ブルさん、本日の卓話宜しくお願ひします。

◆濱田一郎君

先日池田先生に歯牙用のX線撮影機を納入させていただきました。鹿兒島のワンチャンたちの健康に役立てていただけることにニコニコします。ありがとうございました。

◆福迫博君

押井さん、高良さん、横山さん、日頃よりお世話になっております。遅くなりましたが、感謝をこめてニコニコします。ロータリーの皆様よろしくお願ひいたします。

《ニコニコBOX累計額 ¥114,333-》

【ゴメンナサイBOX】

◆赤塚晴彦君

スペンソン智江美様、タイ3360地区とのGSE交換に御尽力頂き、有難うございました。小生の力不足で実現しませんでした。こりずに努力します。

《ゴメンナサイBOX累計額 ¥5,000-》

鹿兒島サザンウインドロータリークラブ

2009~2010年度 クラブテーマ 「善いことを思い 実行しよう！」

【プログラム】米山奨学生卓話 プルナマワティさん
「戦前戦後日系インドネシア人
—残留元日本兵の団体と北スラウェシ日系人の分析
を中心して—」

・日系インドネシア人

インドネシアにおける残留元日本兵の団体「福祉友の会」と、戦前から北スラウェシに移住した日本人の末裔である日系人の現在を比較検討することにより、「日系インドネシア人」が抱える問題点を明らかにする。

戦後もインドネシアに残留しインドネシア独立戦争（1945年～49年）にも参加した残留元日本兵は、戦後祖国日本からは逃亡兵という汚名を着せられ、その独立に貢献したインドネシアにおいてもかつての侵略者である日本人として、二つの国の歴史の狭間で生きていた。彼らは1979年に福祉友の会を設立し、惨めな境遇にある者同士が助け合い、「生きた証」を残すことでその汚名を回復する闘いを始め、その結果、日本への里帰りや、軍人恩給の支給や大使表彰による名誉の回復を成し遂げた。「福祉友の会」の設立とその活動が、戦中・戦後をインドネシアで生き抜いた「日本人」としての尊厳の回復を可能したのである。しかし、「福祉友の会」は21世になり、運営の主体が残留日本人一世からその家族である二世や三世へと世代交代するなかで、グローバル化の時代を背景に変化を迫られる。残留元日本兵の家族の二世、三世の多くは残留日本人一世よりも、当然のことながら祖国日本に対する理解は薄く、また残留元日本兵たちは、自らの祖国日本については子どもたちにほとんど語らなかつたため、子どもたちは自らのアイデンティティを、インドネシアで形成された元日本兵家族に生まれた「日系人」としてのアイデンティティへと意識的に変更していかざるを得なかつた。つまり子どもたちは自分で自らを日系インドネシア人として理解するようになっていったのである。彼らは日本とインドネシアの友好関係の形成に貢献し、両国の架け橋となるということを福祉友の会の目的にするが、その二世、三世のほとんどが、日本語を話すことができない。こうして、日本語を話せる二世の存在こそが、福祉友の会にとって最重要事項になっている。

他方で、戦前から沖縄から日本人が移民した北スラウェシの日系人の状況は、残留元日本兵からなる「福祉友の会」とは逆の状況があった。北スラウェシ日系人は、祖父が1890年以降移民した沖縄漁民（糸満）で、彼らは1920年以降、北スラウェシ州メナド（マナド）に日本人が造船所を建てたことから、同企業が近郊の魚材であるピトゥンでカツオ鮮魚販売や鰹節製造を行い、沖縄人を中心として日本人の進出が恒常的なものとなった。

北スラウェシの日本人の多くは、戦中は現地徴集、軍属として各部隊に配属され、翻訳、情報活動、食糧確保活動を行った。そして沖縄から移民、邦人の一部の人々が現地人と結婚したり、駐留日本兵の現地女性との同棲したりしたが、当時海軍は、兵士が独身であっても正式の結婚は許可せず同居だけを認めた。

そして太平洋戦争終戦後、日本人は全員強制的に送還されたため、現地に残された現地妻や子どもたちの生活は困窮を極めた。また終戦後、残された日本人の家族たちは、殆どが自分のアイデンティティの証拠となる書類、手紙、写真を焼き捨てたため、インドネシア独立後はインドネシア人として暮らし、戦後50年を経て北スラウェシ日系人としてアイデンティティを取り戻そうとする活動を行ってきたが限界があった。また民間人の調査、支援にも限界があり、現在まで確認ができない家族もまだ多く、日本側が2世、3世の日系人としてのアイデンティティを認めない状況がある。こうした北スラウェシ日系人の状況の中で、茨城県大洗町の水産会社に北スラウェシ日系人が多く移民して働いているという状況がある。北スラウェシ日系人が恒常的に日本の地方都市の大洗町に移民しているにもかかわらず、彼らは殆ど日本語が話せず、日系人として助け合ってその存在をアピールするような組織や活動もできていない。

彼らは2004年に一度教会に集まったが、それ以降も組織化は進まず、教会のコミュニティはあるが日系人としてのグループを作らず、在日の北スラウェシ日系人固有の問題について話し合ったり解決したりすることが困難な状況がある。北スラウェシ日系人歴史をたどると、大洗町と沖縄との間には直接的な因果関係はなく、また大洗町の彼らは固有の問題は、日本滞在が生活の向上に結びつくような日系人グループを組織できないということである。この問題はインドネシアにおける北スラウェシの日系人の問題にも結びついている。

・研究の目的

以上のように、「福祉友の会」を中心とした日系人と北スラウェシ日系人の対照的な状況があり、インドネシアの日系人は「日系インドネシア人」として統一した組織をもっているわけではない。福祉友の会であっても、残留元日本兵たちの活動によって、日系人としての意識は強まったが、はっきりした仲間意識を持っていたのは残留一世だけであり、インドネシアに戦後移民した日本人や戦前からの日系人の中で福祉友の会とつながっているのはごく少数である。

私の研究は、こうしたインドネシアの日系人に関する未解明の問題を明らかにしていこうとするものである。



《2009～2010年度地区大会 スケジュール》

日時：10月24日(土)～25日(日)
 場所：ワールドコンベンションセンター・サミット
 10/24(土)11:00～13:05 会長・幹事協議会
 13:15 点鐘 第1本会議
 18:00～20:30 RI 会長代理歓迎大晩餐会
 10/25(日)9:00 点鐘 第2本会議
 12:40 フェアウェルパーティ(昼食)
 13:00～15:00 地区指導者育成セミナー
 <宮崎東RCとの交流会> 10/24(土)18:30～
 ハナハナカフェ(エムズホテルクレール宮崎1F)
 (宮崎市橋通東1-8-6(宮崎県庁前))
 (Tel0985-61-8622)

RCC サザンフレンズ イベントへのご協力を
 宜しくお願いします。

イベント日時：10月31日(土)13:30～15:30
 場所：赤塚学園1F エントランスホール
 スケジュール：パフォーマンス、モーリタニアからの
 留学生イセルモさんの講演と民族衣装、バザー
 ① バザー提供品へのご協力をお願いします。
 ご家庭や会社で不要となっている贈答品等(販
 売可能なもの)を例会時にお持ちいただくか、
 事務局へご持参下さい。
 ② ご家族等お誘い合せの上、イベントへの参加を
 お願いします。

ペンリレー⑩

「ゆらゆらと ゆれるこころと秋の風」

作 梶秀一郎

ロータリアンの鏡・野元さんから引継ぎました。
 先輩は嫌な言葉ははかず、いつも温和な顔で役目
 はキチッとされ、誠実でまさに鏡だと思い、いつ
 も尊敬しています。以前、私の愛読書が休刊にな
 ったと言ったら、「ロータリーの友」を読んだと教
 わりました。それから毎月読んでいますよ。
 よい生徒でしょう！

ただ昨今の状況を考えますと、このままロータ
 リーに滞まるか、いつ退くか、仕事は大丈夫？
 人のことより自分が大事だ。いや、人の為にな
 りたい、自分にまた戻って来るのだ、、、まあこ
 んな事を考えていますよ。

あの元気な母がGHに入所して、今度は白内障
 の手術です。まだ少しでも認知症が軽いうちに
 しないとといけません、すぐ下の弟が骨髄性白血
 病で足を切断せんといかん、また名古屋に行き
 ます。母校のラグビーも応援に行かんといかん、
 広島カープのキャンプでコーチ、選手と飲まん
 といかん。仕事がないから社員のクビも切らん
 といかん、ホールインワンコンペの段取りも
 せんといかん。この前桐野利秋のロケを大口
 で偶然見たなあ、、、いろいろやなあ、、、

今回は、私をロータリーに誘ってくれた下前建
 ちゃん、お願い。



出席報告	会員数	出席数	出席率%
第588回10月15日(木)	54	36	66.67
第586回10月1日(木)訂正	54	43	79.63

《次回(第590回)例会のお知らせ》

日時：H21年10月29日(木)

12:30～13:30

場所：東急イン2F

プログラム：地区大会報告

市内他RCプログラム ★例会時間・場所等の変更			
月日曜	RC	プログラム	例会場
10月23日(金)	鹿児島RC	GSE帰国報告	山形屋
10月26日(月)	中央RC	職業奉仕フォーラム	山形屋
10月27日(火)	東南RC	地区大会報告	サンロイヤルホテル
10月27日(火)	城西RC	クラブ協議会(地区大会報告)	東急イン
10月28日(水)	南RC	★職場訪問	サンロイヤルホテル
10月28日(水)	西RC	クラブ協議会(地区年次大会報告)	山形屋
10月28日(水)	西南RC	職業奉仕賞	ゆうづき
10月29日(木)	東RC	クラブ定款休会	山形屋
10月29日(木)	北RC	クラブ協議会 地区大会報告など	東急ホテル